

# グルジア政治・経済 主な出来事

【2013年10月7日～10月13日】

〔当地報道をもとに作成〕

平成25年10月16日

在グルジア大使館

## 主な動き

### 1. アブハジア・南オセチア

#### ▼「国境化」に関する在グルジア日本大使館の声明(11日)

・グルジアにおける南オセチア・アブハジアの行政境界線において、鉄条網やフェンス、盛り土が築かれるなど、現状の固定化を目指す動きがあることについては、我々としても懸念をもって注視している。

・南オセチア・アブハジアについては、現在、当事者を含め、国際社会が問題の平和的解決に向けた努力を続けている。

・我が国は、グルジアの領土一体性の原則に基づく平和的解決を一貫して支持しており、平和的解決のための努力を妨げる行為は避けるべきであると考えます。

#### 【アブハジア】

#### ▼アブハジア・ロシア社会・経済協力委員会の第6回会議(10日)

・ソフミで行なわれた会議には露側からフロポニン副首相、スルコフ大統領補佐官、ヌルガリエフ連邦安全保障会議副書記、マリーニン連邦地域発展省次官、ゴルニン連邦財務次官、クリモフ連邦教育科学次官らが出席。

・アンクワブ・アブハジア「大統領」は「ス」補佐官、「ヌ」副書記と会談。「ヌ」副書記とは安全保障、とくに「アブハジア・グルジア間の国境」の警備について協議。

#### 【南オセチア】

#### ▼サーカシヴィリ大統領が南オセチア行政境界線付近のドヴァニ村を訪問(10日)

・与野党で意見の異なる問題は数多いが、グルジアの主権については意見の違いはあり得ないとして、TVを通じて与野党の協力を呼びかけた。

・12日には国会のベセリア人権保護委員長、ヴォルスキ領土一体性回復委員長がディツィ村とドヴァニ村の行政境界線付近の状況を視察。

#### ▼障害物の建設に対する抗議活動

・連日、南オセチア行政境界線付近のディツィ村、ドヴァニ村などで、NGOや学生らによる障害物の建設に反対する抗議活動が行われた。

### 2. 外 政

#### ▼パンジキゼ外務大臣がドイツを訪問(6日―8日)

・ドイツ外交政策協会でグルジアの欧州・欧州大西洋との統合プロセスおよびグルジア国内の改革について講演。

・7日、ヴェスターヴェレ独外務大臣と会談。行政境界線

の「国境化」をめぐる問題についてロシアへの働きかけを要請。

#### ▼2008年の戦争でグルジアを爆撃したパイロットがソチ五輪の聖火ランナーに(7日)

・モスクワ中心部を走るソチ五輪の聖火ランナーの一人に、2008年の戦争でグルジアを爆撃したパイロット、ネチャエフ氏が選ばれたことが明らかになった。

・7日、政府はロシアの「挑発的な行動」を非難し、五輪の過度な政治目的での利用が行われた場合には、グルジア政府は「国民の尊厳と利益を守るために適切な政治判断を行なう」とする声明を発表。

・国内でボイコットを求める声が高まっていることに対し、ザカレイシヴィリ再統合問題担当国務大臣はTVで「ロシアの挑発に乗ってはいけない」と話した。

・8日、「トランスペアレンシー・インターナショナル」と「公正な選挙と民主主義のための国際社会」がソチ五輪のボイコットを求める署名運動を開始。翌日までに5千人の署名を集めた。

#### ▼リトアニア国会議長がグルジアを訪問(7日―9日)

・7日、トビリシで行なわれた国際会議「ヴィリニウス首脳会議を前にしたグルジア」に出席。ウスパシヴィリ国会議長、サーカシヴィリ大統領らと会談。

#### ▼スリナムの国会議長がグルジアを訪問(8日―9日)

・8日、シモンズ・スリナム国会議長がウスパシヴィリ国会議長と両国関係の発展について会談。

・9日、他の外交団とともに南オセチア行政境界線付近のドヴァニ村の状況を視察。

#### ▼2015年以降グルジア軍がNATO即応部隊に参加(10日)

・ラスムセン NATO 事務総長は「NATO 即応部隊への参加についてのグルジアからの申し出は受け入れられた」として、「2015年にはグルジア軍部隊が NATO 即応部隊に参加することを期待している」と発言。

#### ▼アフガニスタンのグルジア軍部隊が交代(10日)

・国防省によれば、今月中にヘルマンド州に6カ月間駐留していた第3、第4旅団第33、第42大隊に代わり、第3旅団第31大隊とバトゥミの歩兵大隊が駐留する。

#### ▼サーカシヴィリ大統領らがアリエフ・アゼルバイジャン大統領の再選を祝福(10日)

・9日に行なわれたアゼルバイジャンの大統領選挙で再選を果たしたアリエフ大統領に、「サ」大統領およびヴァニシヴィリ首相が電話で祝福を伝えた。

#### ▼パンジキゼ外務大臣がOSCE常設理事会にて演説(10日)

・アブハジア及び南オセチアの行政境界線に沿った障害物の建設を非難し、ロシアに対し建設の停止と2008年の停戦合意の遵守を要求。ソチ五輪については、ロシアが政治利用を試みていると批判。ロシアの挑発的な行為にもかかわらず、グルジア政府は「平和的で現実的なアプローチ」を追求すると述べた。

・「パ」外務大臣はザニエル OSCE 事務総長と、占領線に沿った障害物の建設および被占領地域における深刻な安全・人権状況について会談。「パ」外務大臣は大統領選挙の監視団の派遣について ODIHR に感謝を伝えた。

#### ▼パンジキゼ外務大臣がスロヴァキアを訪問(11日)

・スロヴァキアのフィコ首相、ライチャク外務大臣、ラサコヴァ国会副議長と会談。二国間の経済関係の強化などについて話す。「ラ」外務大臣はスロヴァキアがグルジア大使館の開設を決定したことを明らかにした。

#### ▼「ロシアでの投票所の開設は困難」(11日)

・大統領選挙に関し、ザルカリアニ外務第一次官は「外交関係のないロシアでの投票所の開設は困難」と発言。2003年の大統領選挙でロシアで投票した有権者は約5千人であったとして、大きな影響はないと話した。

#### ▼パンジキゼ外務大臣がカタールを訪問(12日-13日)

・ピピア農業大臣、ペルタイア国家投資局長、バチアシヴィリ・グルジア共同投資基金 CEO も同行。

・カタールの首相・内務大臣、外務大臣代行らと会談。二国間関係が発展しつつあることを確認し、政治・通商・文化・教育における具体的な今後の協力について協議。カタール側はグルジアへの投資に関心を示した。

### 3. 内政

#### ▼イヴァニシヴィリ首相とウスパシヴィリ国会議長が国家安全保障会議への出席を拒否(9日)

・9日、サーカシヴィリ大統領が「国境化」およびソチ五輪に関連する問題について国家安全保障会議を開催することを提案。

・「ウ」国会議長と首相府は、国会安全保障会議の招集は大統領のPR活動に過ぎないと書面で批判し、出席を拒否。

・今年には既に安全保障会議が2度開催されているが、「イ」首相は2度とも、「ウ」国会議長は1度欠席している。

### 4. 経済

#### ▼ロシアがグルジアワインなど28種のグルジア製アルコール飲料の輸入を不許可(8日)

・露消費者保護・福祉分野監督庁は、グルジア企業7社の生産する28種のワイン等アルコール飲料が、「衛生的な基準を満たしていない」としてロシアへの輸入を却下。

・これまでグルジア企業95社のアルコール飲料および7

社のミネラルウォーターにロシアへの輸入の許可が与えられている。

#### ▼ロシアへの果実・ナッツ類の輸出再開(10日)

・10日、モスクワにて行なわれたグルジア農業省と露動植物検疫監督局の協議後に、14日以降、ロシアがグルジアに対して柑橘類、ブドウ、リンゴ、梨、マルメロ、ナッツ類の禁輸を解除することが発表された。

・6月以降、ロシアはグルジアのワイン及びその他のアルコール飲料、ミネラルウォーター、茶の禁輸を解除している。

#### ▼ハドゥリ財務大臣が訪米(8日-14日)

・9日、ワシントン大学で開催された IMF の国際会議に出席。朱民 IMF 副総裁とグルジア経済の今後の見通しについて会談。

・11日、IMF と世界銀行の年次総会に出席。

・JP モルガン、Bank of America ・メリルリンチなど投資銀行の代表者らと会談し、グルジアの投資環境を説明。タック世界銀行副総裁、ムーディーズ、欧州復興開発銀行、シティバンクの関係者らと会談。

・14日、中尾武彦アジア開発銀行 (ADB) 総裁と会談。2014年春にグルジア政府と ADB がトビリシでビジネスフォーラムを開催することで合意。

#### ▼IMFが「世界経済見通し」を発表(11日)

・IMF は最新の「世界経済見通し」で、グルジアの2013年の経済成長率を2.5%、失業率については2013年16.7%、2014年17.3%と予想。(2013年4月の「見通し」では2014年の失業率を13.3%と予想していた。)

・ハドゥリ財務大臣は2013年第2四半期から失業率は低下しており、2014年以降大きく下がるはずだと反論。

・IMF の「見通し」はグルジアについて、「低調な民間投資、融資の成長の弱さ、国庫からの不十分な歳出により経済成長は鈍化するだろう」「投資家の信頼を回復するには最近の政治的な不安定さを解消する必要がある」と記している。

### 3. その他

#### ▼クタイシの刑務所で未成年の受刑者が死亡(8日)

・8日、強盗により前日にクタイシ第2刑務所に収容された16歳の受刑者が死亡。政府は自殺と発表。

・「監視カメラが作動していなかった」という政府の説明は疑わしいとして、サーカシヴィリ大統領はスバリ法務支援・矯正大臣に対処を要請する書簡を送付。

#### ▼グルジア東部でM5.3の地震(10日)

・10月10日8時10分、カヘティ地方クヴァレリ地区でマグニチュード5.3の地震が起きた。被害は確認されていない。